

西海ブロック水産業情報

NO. 94 (平成28年7月～9月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○有明海 (ノリ養殖) かき殻系状態培養は6か月が経過し、7割が成熟しおおむね順調。9月末から採苗に向けた熟度調整に入る。</p>	<p>○有明海 ・クラゲ資源保護 近年、夏場の重要な漁獲対象となっているビゼンクラゲについて、佐賀県有明海区漁業調整委員会指示により、採捕サイズや採捕区域、使用漁具(固定式刺網の網丈や長さ、目合)等の制限を行い、資源保護を図った。 ・アゲマキ資源保護 佐賀県では、アゲマキ資源回復を目指し、人工種苗の大規模放流を継続して実施している。現在、放流した種苗から生まれたと推測される稚貝が放流箇所周辺の干潟で多くみられ始めたことから、佐賀県有明海区漁業調整委員会指示により、平成29年8月31日までの、アゲマキの全面禁漁を決定した。</p> <p>○玄海 ・ナマコ:7月上旬から9月中旬に約78万個(10～20mmサイズ)配布。飼育継続中。 ・クロアワビ:平成27年度産:殻長11～32mm 約18万個飼育中。 ・アカウニ:9月26日から種苗生産開始。</p>		<p>・イリドウイルス病発生(マダイ、シマアジ、カワハギ) 県内各地で発生(例年になく蔓延している)。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・スジアラ種苗生産:約5万尾を生産 ・イワガキ種苗生産:6～9月に採卵し、種苗生産中</p>	<p>カレニア・ミキモトイが、昨年度7月中旬から9月上旬まで県北の北浦湾を中心に広い海域(最大12,600cells/mL)で見られ一部で漁業被害をもたらしたが、今年度は一転し、この期間中北浦湾の敷定点で7月、9月に1cell/mLとわずかにみられたのみであった。また、同湾にて他にヘテロシグマ・アカシオ、シャットネラsp. がみられたものの、同様にわずかであった。北浦湾周辺の表層平均水温は22.7～26.7℃と平年値(24.0～27.1℃)に比べやや低めに推移した。</p>		